

「ひろしま CanDo プロジェクト」を訪問しました。

2022年5月29日(日) 10:00-13:00 素晴らしい快晴の下、広島市安佐北区の可部運動公園で行われたペーパークラフトロケット教室を見学しました。JR 広島駅前からレンタカーで向かいました。コロナ感染者数は高止まりのままですが、既に世の中は with コロナへの対応が始まっているようで、広島駅も道路も、そして可部運動公園も多くの人でした。私は、昨年からずっと在宅勤務を続けており、まだ心と体が巣ごもり状態でしたが、前日の大学寄付講義に続く、現地での対面活動で目覚めたようです。

今回のロケット教室は参加者が少なかったそうですが、5家族で8つのロケットが作成されました。対象は小学校3年生以上で、参加していたのは子どもが5人でその親や兄弟合わせて10数名でした。

最初にビデオで植松さんの動画を20分見た後に、ロケットの作成を行いました。子どもたちは見本のロケットとマニュアルを見ながら一生懸命作っていました。子どもたちが思った以上に集中していたのに驚きました。12:00 前頃完成し、外のグラウンドに出て発射を行いました。2つの発射台から「安全確認よし」の掛け声でカウントダウンを始め、自分でリモコンを操作しロケットを発射しました。かなり高く上がって、パラシュートが開き落下してきました。この火薬エンジンが高いので一人1回きりの打ち上げだそうです。みんなうまく飛んでいました。子どもだけでなく、大人も楽しそうに飛んだロケットの落ちてくるのを追っかけていました。



<ひろしま CanDo プロジェクト>

- ・代表の弓立さんが悩んでいた時に植松さんの本に出会い、植松さんの推奨するペーパークラフトロケットをやりたいと、今のメンバーの協力を得て始まった団体です。
- ・このロケット教室は北海道の植松電機の社長植松努さんの考える”「どうせ無理」を「だったらこうしてみたら？」に。人の可能性を奪わない社会を目指します。”という理念に共感して行われています。自ら作ったロケットが空高く飛ぶ姿を目の当たりにすることで、やればできる!を体感し、「やったことのないこと」に挑戦すること、それを乗り越えた時の感動、喜び、達成感を体験することがこの教室の目的です。

(井上)